

## 専門学科を有する市立高校の今後の方向性について

市立高校のあり方については、昨年度、有識者会議からの報告を受けたところであり、それらを踏まえ、専門学科を有する市立高校の今後の方向性について検討を進めるもの。

### 1 はじめに

- ・ 当分の間、生徒数の増加が見込まれる福岡地区において、市立高校4校では、専門学科を有する福岡女子高校と博多工業高校において募集定員割れが発生しており、今後の学校のあり方について早急に検討する必要がある。

### 2 福岡女子高校

#### <産業構造の変化、育成すべき能力資質>

- ・ 9割が第3次産業が占める福岡市において、「卸売・小売業」が減少し、「保健衛生・社会事業」「宿泊・飲食サービス業」等が増加。市では、観光、クリエイティブ関連産業の振興等の施策を推進しており、当該分野での人材需要の高まりが見込まれる。
- ・ 訪日・在住外国人との交流機会が多い福岡市において、国際感覚あふれ世界で活躍する人材育成が必要。また、将来的には、AI やロボットで代替しやすい職種の需要減少が予測されており、「問題発見・解決能力」「創造性」などの資質・能力を育成する必要がある。

#### 育成する人材像

- ・ **社会・地域課題への探究心と解決に向けた行動力、高い語学力と国際感覚を身につけた、市の産業や地域の将来に貢献する人材。**

#### <見直しの方向性>

- ・ 市の産業との関連性などを踏まえ、学びの内容を転換するとともに、産業界から求められる多様な能力を育成するため、専門分野ごとに独立した学びのあり方を見直し。

#### <取組内容・時期>

##### ○総合学科への改編

(共通の学びと、複数の専門教科から学びを選択)

- ・ 専門は、「調理・栄養」「保育・看護」「国際」「観光」「情報・デザイン」を軸に検討。
- ・ 地域課題等を題材に探究的な学習を実施し、問題発見力等の能力を育成。
- ・ 生徒の語学力の向上、異文化理解、外国語で自身の考えを発信できる力を育成。

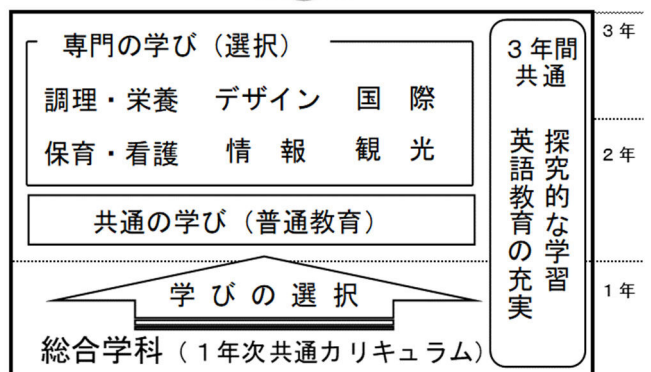
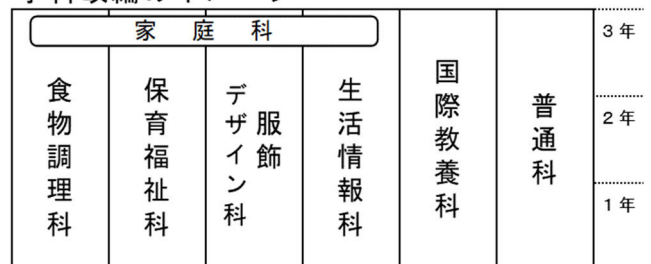
##### ○共学化

- ・ 上記の学びは、性別によらず提供すべきであり、性差による入学制限を見直し。

##### ○時期

- ・ 令和9年度を目途に実施

#### 学科改編のイメージ



### 3 博多工業高校

#### <産業構造の変化、育成すべき能力資質>

- ・福岡県内の建設業の求人倍率は高く、製造業や第3次産業においても工業技術を有する人材への需要がある。また、「情報通信業」が増加しており、デジタル人材への需要が高まっている。
- ・専門知識・技術に併せ、問題発見・解決能力やコミュニケーション等の能力の育成が必要である。また、「AIやデータサイエンスを活用し展開できること」や「専門技術と社会課題をつなぎ合わせ、新しい価値の創造できること」など高度なデジタル人材の育成が必要である。

#### 育成する人材像

- ・時代に即した工業技術を有し、市の産業を支え、次代のものづくり現場のリーダーとなれる人材。
- ・高度な情報技術を活用・展開し、社会に新しい価値を生み出すことのできる人材。

#### <見直しの方向性>

- ・多くの産業で求められる、幅広い工業の知識・技術が習得できる学科・学びに再構築。
- ・学んだ専門技術を課題解決にどのように活かしていくかまで見通した、より社会から求められる実践的な教育への転換。また、生徒が興味関心や適性、将来のキャリア形成まで見通して、専門の学びを選択できる環境を整備。

#### <取組内容・時期>

##### ○総合工業科への改編

(1年次：共通、2年次～：専門コース選択)

- ・専門の学びを、「機械」「建築」「電子」の3つの系統に再編し、今後、詳細な教育課程の検討を行う。
- ・すべての生徒が基礎的な情報技術が習得できるような学びを実施。
- ・探究的な学習や、実習・企業等へのインターンシップなどにおける専門知識・技術を用いた実践に取り組む。

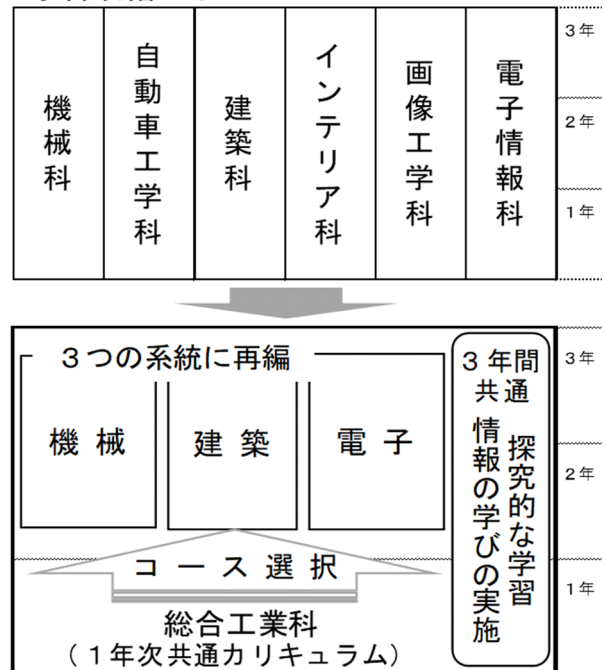
##### ○時期

- ・令和9年度を目途に実施

##### ○3年間に限らない学び

- ・高度なデジタル人材の育成にあたって、学習指導要領を超えた学びが必要であり、高等教育機関やそれに準じた教育機関について、外部意見を聴取しながら、具体的な検討を進める。

#### 学科改編のイメージ



### 4 進め方

- ・本方向性に沿って、令和6年度中を目途に、詳細な学びの内容等の検討を進める。